

影響度：中（1～10億円）、大（10億円以上）
時間軸：中期（2030年）、長期（2050年）

シナリオ		種類	ドライバー	影響	影響度	時間軸	関連する取り組み（対応策）				
1.5℃ シナリオ	移行 リスク	政策・ 法規制	炭素税の上昇、 GHG排出規制の強化	・炭素に関わる新税の導入によるコスト増	大	中長期	・ ICP制度を活用した自家消費用再エネ発電設備や省エネ設備導入 ・トラッキング付FIT非化石証書活用による実質再エネ化 ・社有林の森林吸収によるカーボンオフセットの取り組み推進 ・重機の燃料転換や電化に関する情報収集				
				・再エネ、省エネ化関連設備導入に伴うコスト増							
				・再エネ電力購入コスト増 ・エネルギー転換に伴うコスト増							
		技術	新技術の開発	・代替素材や代替技術開発による石灰石の需要減	大	中長期	・石灰石の新規需要開拓、海外輸出推進				
		市場	電化需要の拡大	・銅鉱山開発案件の獲得競争激化による投資コスト増	大	中長期	・情報収集とリスク管理の継続				
	機会	技術	新技術の開発	・GHG低排出商品の需要増	大	中長期	・ポリテツの新製法および新商品の開発 ・GHG排出削減に寄与する研究開発の推進				
市場				電化需要の拡大				・送電線などに使用される銅の需要増 ・銅需要拡大に伴う銅鉱山の採算性向上	大	中長期	・アルケロス銅鉱山の開発 ・新規開発案件の調査、参入 ・既存鉱山の周辺探鉱による鉱量増大
								再エネ需要の拡大			
4℃ シナリオ	物理的 リスク	急性的	気象災害の激甚化 （台風、洪水等）	・生産事業所の災害対策および被害復旧に伴うコスト増 ・サプライチェーン寸断による販売減	中	中長期	・BCPの強化、継続的見直し ・石灰石鉱山の拠点分散による安定供給体制継続 ・水の循環再利用による使用量削減 ・AI・IT技術導入による高負荷作業の自動化、効率化				
		慢性的	平均気温上昇	・海面上昇に伴う臨海拠点の水害リスク ・渇水リスク増加に伴う操業への影響 ・従業員の労働衛生面での悪影響による生産性の低下				中	長期		

【参照シナリオ】

- 1.5℃シナリオ**
・ IEA「NZEシナリオ」
- 4℃シナリオ**
・ IPCC「RCP 8.5シナリオ」